

練馬区立美術館再整備基本構想（素案）  
に寄せられた意見と区の考え方について

1 意見の受付状況

(1) 意見募集期間

令和3年12月11日（土）から令和4年1月17日（月）まで

(2) 周知方法

ねりま区報(12月11日号)・区ホームページへの掲載、区民情報ひろば、  
区民事務所（練馬を除く）、図書館、文化・生涯学習課、美術館での閲覧

(3) 意見件数

76件（21名、1団体）

(4) 意見に対する対応状況

区分	対応区分	件数
	意見の趣旨を踏まえて構想に反映するもの	2
	素案に趣旨を掲載しているもの	19
	素案に記載はないが、他の施策等で既に実施しているもの	1
	事業実施等の際に検討するもの	45
	趣旨を反映できないもの	6
	その他、上記以外のもの	3
	合計	76

## 2 区民からの意見（要旨）と区の考え方

No	意見(要旨)	区の考え方	対応区分
<b>構想全体</b>			
1	基本構想(素案)については概ね賛成で計画のスムーズな進展を強く望む。	練馬独自の新しい美術館を創造するため、基本構想で掲げる「まちと一体となった美術館」「本物のアートに出会える美術館」「併設の図書館と融合する美術館」の3つのコンセプトの実現に向けて、リニューアルを進めていきます。	
2	区民や区外からの人が使い易く、親しみの持てる美術館の設置を期待する。		
3	子供から大人まで、ほっと安らげる場として、より開かれた魅力のある美術館に再生されることを望む。		
4	練馬区全体の映像文化のまちの基盤となるようにアートの力を活かし、価値を高め、その効果をたくさんの区民に降り注ぐことができる内容である。美術館エリアの価値が練馬区全体の文化活動へつながり、ともに発展していこうとする意欲が感じられ、スケールが大きい。実現することができたら本当に素晴らしい。		
5	美術館は、単なる絵の飾ってある箱物ではなく、憧れの作品を見て、感動をもらい、作家の生の声を聞き、日常から離れる。このようなことを求めて出かけていく場だと思う。そういう来館者の思いを包み込むような雰囲気をもった場所になることを願う。		
6	中村橋周辺も一体的に考えた夢のある魅力的な構想である。		
7	今までには無い練馬区独自の新しい魅力的な美術館ができあがる事を希望する。区民が自然や文化に触れられ癒され、若者や区外の方達にも足を運んでもらえる魅力的なスポットにしてほしい。みどり、自然、農との共生で素敵な憩いの施設が作られるのを楽しみにしている。		
8	日ごろから美術館を利用しているが、カフェの充実など日ごろから思っていたことがたくさん盛り込まれており、再整備された後の美術館がとても楽しみである。		
9	美術館を増築・建替することは素晴らしい。区民が誇れる施設にしてほしい。		
10	近い将来さらに素敵な街になりそうで、楽しみである。		

No	意見(要旨)	区の考え方	対応区分
11	<p>小・中学校では築50年以上の校舎が半数以上あり、建設時間もかかるため順番が回らず昭和のものをずっと使っている。築年数もさほどいない美術館に対し予算をつぎこむことに反対する。即刻撤廃し、学校へ予算を回すべきである。</p>	<p>美術館は、開館から36年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいるため、大規模な改修が必要な時期を迎えています。近年の他自治体の事例を参考に、大規模改修を基本とした場合でも、経費は70億円程度と試算しています。展示・収蔵環境(7,000点を超える収蔵作品の活用や大規模企画展の開催など)やバリアフリーなど、多くの課題を抱えており、改修では十分な対応が難しいため、これらを総合的に勘案し、改築としたものです。</p> <p>学校改築については、財政負担の平準化の観点から、着実かつ計画的に進める必要があると考えています。</p>	
12	<p>基本構想(素案)に反対する。美術館を魅力的な施設に改革してゆくことには賛成だが、財政難と言われる中で、エリア一帯を更地にし、サンライフを廃止して文化庁の公開承認施設をめざすとする事には反対する。公開承認施設のような立派な美術館にしたいという構想は、巨大な経費が必要と思われ妥当とは思えない。この構想にかかる財政負担を示した上で、改めて区民の判断を仰いでほしい。</p>	<p>美術館は、開館から36年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいるため、大規模な改修が必要な時期を迎えています。近年の他自治体の事例を参考に、大規模改修を基本とした場合でも、経費は70億円程度と試算しています。展示・収蔵環境(7,000点を超える収蔵作品の活用や大規模企画展の開催など)やバリアフリーなど、多くの課題を抱えており、改修では十分な対応が難しいため、これらを総合的に勘案し、改築としたものです。</p> <p>公開承認施設とするには、学芸員の配置、建物や設備、防火・防犯体制などの基準が定められていますが、これらは作品や文化財を守り活用する博物館の基準でもあり、守るべきものです。現在の美術館も、石神井公園ふるさと文化館も建設当時の基準に則り整備しています。</p> <p>サンライフ練馬は、施設の設定目的と利用実態が必ずしも一致しておらず、勤労者福祉施設としての機能が低下しているという課題があります。一方、トレーニング室や会議室等は、勤労者だけでなく、高齢者を中心に幅広い年代に利用されている状況です。</p> <p>また、近隣の中村橋区民センターも大規模改修が必要な時期を迎えています。建設当時から幾度も機能の転換が行われており、今後も予定されているため、最新の機能にあわせた部屋の活用や動線の確保など、施設全体の有効活用が課題となっています。</p> <p>このため、公共施設等総合管理計画(実施計画)の中で整理をし、中村橋区民センターの大規模改修と美術館の再整備にあわせて、サンライフ練馬のトレーニング室や会議室の代替を確保するとともに、サンライフ練馬を廃止し、その敷地を活用して、美術館をリニューアルすることにより、3施設の課題を解決したいと考えています。今後、中村橋区民センターの改修や美術館・図書館の設計を進める中で、現在だけでなく、将来の区民ニーズに応える施設となるよう、財政負担も含めて検討します。</p>	

No	意見(要旨)	区の考え方	対応区分
13	<p>この計画に反対である。築36年で老朽化と言わないでほしい。美術館は、規模を大きくしなくても良い。所蔵品が収納しきれないのであれば、別の場所に収納すればいい。</p> <p>サンライフ練馬は、大規模改修をしたばかりで内装もきれいである。サンライフ練馬をなくさないでほしい。</p>	<p>美術館は、開館から36年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいるため、大規模な改修が必要な時期を迎えています。近年の他自治体の事例を参考に、大規模改修を基本とした場合でも、経費は70億円程度と試算しています。展示・収蔵環境(7,000点を超える収蔵作品の活用や大規模企画展の開催など)やバリアフリーなど、多くの課題を抱えており、改修では十分な対応が難しいため、これらを総合的に勘案し、改築としたものです。</p> <p>サンライフ練馬は、施設の設置目的と利用実態が必ずしも一致しておらず、勤労者福祉施設としての機能が低下しているという課題があります。一方、トレーニング室や会議室等は、勤労者だけでなく、高齢者を中心に幅広い年代に利用されている状況です。</p> <p>また、近隣の中村橋区民センターも大規模改修が必要な時期を迎えています。建設当時から幾度も機能の転換が行われており、今後も予定されているため、最新の機能にあわせた部屋の活用や動線の確保など、施設全体の有効活用が課題となっています。</p> <p>このため、公共施設等総合管理計画(実施計画)の中で整理をし、中村橋区民センターの大規模改修と美術館の再整備にあわせて、サンライフ練馬のトレーニング室や会議室の代替を確保するとともに、サンライフ練馬を廃止し、その敷地を活用して、美術館をリニューアルすることにより、3施設の課題を解決したいと考えています。</p>	
<b>リニューアルコンセプト</b>			
<b>コンセプト1「まちと一体となった美術館」</b>			
14	<p>アートを感じられるようにと商店街の雰囲気無理に変えることはない。</p>	<p>中村橋駅周辺地区では、これまでバリアフリー基本構想や駅南北で決定した地区計画に基づき、駅前広場の整備など、まちづくりに取り組んできました。</p> <p>美術館のリニューアルは、更なるまちづくりの契機となるものと考えています。地元の町会・商店会関係者等と共に、美術館のある街並みの整備、統合・再編する駅周辺施設との連携、商店街のにぎわいの創出などについて検討していきます。</p>	
15	<p>アーティストインレジデンスは素晴らしい。</p>	<p>若手アーティストや練馬ゆかりのアーティストに、創作活動や発表の場を提供できるようアーティストインレジデンスを検討していきます。</p>	
<b>コンセプト2「本物のアートに出会える美術館」</b>			
16	<p>石神井公園ふるさと文化館分室は好立地のため、これをうまく使った企画をするのが良い。</p>	<p>練馬文化センターや石神井公園ふるさと文化館と連携した企画を検討していきます。</p>	
17	<p>企画展示室、一般展示室以外で収蔵作品を常時見られる常設展示室を設置してほしい。</p>	<p>収蔵コレクションを活用し、常時鑑賞できる常設展示室を設置します。</p>	

No	意見(要旨)	区の考え方	対応区分
18	常設展示室が予定されていることは大変喜ばしく、常に多くの方々に観覧してもらいたい。また、大きな作品を立体的に展示できるようなスペースや和室などもあると良い。	展示室などの諸室機能等については、今後、設計のなかで具体的に検討していきます。	
19	練馬のアートは漫画・アニメ・映画を当然含めるべきであり、練馬の産業発展に貢献すると良い。	令和3年11月に策定した「映像 文化のまち構想」では、アニメや映画だけでなく漫画や写真など様々なメディアや形態、また、その作り手なども幅広く映像文化と捉えています。再整備後の美術館も、練馬の映像文化を発信する新たな拠点となります。	
20	現在は現代絵画が少ない。収録コレクションを入れ替えて、若手の現代絵画、漫画・アニメ関連を含めて収録すべきである。日大芸術学部などとの連携が合っても良い。若手のアーティストの居住・就業機会にも繋がる。	リニューアルにあわせて、作品分野や収集、活用手法について検討していきます。 区内の芸術系大学との連携によるイベントやワークショップなどの開催も検討していきます。	
21	区民の作家中心に、アニメ・漫画や映像の所蔵を増やせると素晴らしい。		
22	アニメ、漫画の常設展示スペースを作って、区内在住の作家の発表の場を広げてもらいたい。	令和3年11月に策定した「映像 文化のまち構想」に基づき、区ゆかりの漫画家の皆さんと連携し、大泉学園駅周辺に漫画にかかわるギャラリーの整備を検討します。	
23	国宝や重要文化財を展示できるハイレベルな美術館にするとあり、将来的な展望として画期的である。展示される美術品の幅が広がり、「本物のアート」を謳う美術館として相応しい。	美術館として作品や文化財を守るため適切な収蔵・展示環境を整え、国宝や重要文化財などの貴重な作品も身近で鑑賞できる施設となるよう進めていきます。	
24	バリアフリー仕様として段差解消やトイレの広さなどに加えて、特に視覚障がいや色覚障がいのある方への配慮がほしい。音声案内、案内板の文字の色や大きさ、照明の色、香りなどを含めた触覚刺激を取り入れて、アートに出会いたいあらゆる人を受け入れ可能な工夫された空間を期待したい。	施設動線やユニバーサルデザインなどに配慮し、乳幼児から高齢者、障害者など誰もが気軽に鑑賞できる環境となるよう、今後、設計を進めていきます。段差解消や音声案内、サイン表示の工夫など、障害のある方などへの配慮の具体例を「誰もが気軽に鑑賞できる環境をつくる」の項目に追記します。	
<b>コンセプト3「併設の図書館と融合する美術館」</b>			
25	併設図書館との連携は新機軸が生まれそうであり、賛成である。		
26	美術館と図書館の融合はまさしく理想的で、来客が同じテーマについて美術作品鑑賞と図書館資料をいったりきたりできるのは、きわめて有益である。美術館入場料増加へつながる可能性も大きい。	図書館と機能的・空間的に融合することで、互いの強みを活かした相乗効果を生み出せるよう進めていきます。	
27	美術鑑賞後、展示物に関する書物を手に取り、探求心を深め、また、その感想を友人等と共有できるカフェスペースがあることを楽しみにしている。		
28	「美術館と図書館の全面改修」という表記が主従関係がなく好ましい。		

No	意見(要旨)	区の考え方	対応区分
29	「ものがたりの部屋」のように、照明を落とした空間でLEDランプなどの明かりを囲んで、お話会や絵本の読み聞かせ、朗読劇、上映会などをやれると良い。	諸室の活用方法については、諸室規模とあわせて、今後、設計のなかで検討していきます。	
30	ブックアートキッズスペースは漠然としすぎている。是非、今回の整備に関する「子ども」には、中高生にも目を向け、学習スペースの充実も盛り込んでほしい。学習だけでなく、居場所の機能も含まれると良い。		
31	貫井図書館の蔵書を増やしてほしい。		
<b>まちづくり</b>			
32	中村橋駅周辺の整備に合わせ、西武鉄道に働きかけて美術館側(西口)にも出入口を整備してもらえれば、来館者の利便性が高まる。	中村橋駅周辺地区では、これまでバリアフリー基本構想や駅南北で決定した地区計画に基づき、駅前広場の整備など、まちづくりに取り組んできました。 美術館のリニューアルは、更なるまちづくりの契機となるものと考えています。地元の町会・商店会関係者等と共に、美術館のある街並みの整備、統合・再編する駅周辺施設との連携、商店街のにぎわいの創出などについて検討していきます。	
33	駅から北側の細い道路はわくわく感に少し欠けるので、南の広場からも誘導できるような案内もい。		
34	豊島園の跡地にできる民間の「スタジオツアー東京 メイキング・オブ・ハリー・ポッター」とともに、にぎわいを作り出すとの事だが果たしてそれが公共の役割か、商業的には難しいという映画を上映するのも「映画のまち」に相応しいと思う。	ハリー・ポッター スタジオツアー施設は、世界的な映画会社が参画する世界で2番目の施設であり、区の映像文化における新たな拠点の一つになると考えています。今後、作品の上映イベントや周辺の商店会等と連携したイベントを、ワーナー ブラザースと連携して開催し、練馬の魅力を内外に発信していきます。 区には、昭和初期から映画の撮影所等があり、数々の映像作品が生まれてきた歴史があります。区ゆかりの俳優が出演する名作映画の上映会など、区の映像文化資源を活かした事業を実施しています。	
<b>活動</b>			
35	本物に触れるため、デジタル化はあくまで検索・紹介の域に止め、あまりコストをかけるべきではない。	ICT機器や設備の具体的な活用、導入等については、今後、設計と並行して検討していきます。	
36	メタバース対応できると素晴らしい。スタジオ機能も施設計画に入れると良い。リアルでも、学芸員の解説・ガイドもスマホで聴ける設備があった方が良い。		
37	区民ギャラリーは中規模、小規模の2室設置で、入口、受付から少し離れた位置が望まれる。食事可能な控室も必要。		
38	創作室は、平面(絵画、デザイン等)立体(彫刻、陶芸等)に分けて2室必要。		
		創作室の機能充実や、区民ギャラリーの利便性の向上など、今後、設計のなかで具体的に検討していきます。	

No	意見(要旨)	区の考え方	対応区分	
<b>運営</b>				
39	知名度向上の為、特典を付与し、クラウドファンディングするのも面白い。	作品収集のほか、施設整備や運営にあたっては、収入確保の方法のひとつとして、クラウドファンディングを検討していきます。「収入の確保」の項目に文言を追記します。		
40	開館時間延長は大賛成である。	カフェなどの営業時間も踏まえながら、開館時間の延長を検討していきます。		
41	運営にはコストがかかるため、割引したとしても75歳以上でも入場料は取るべきである。	運営等については、今後、設計と並行して具体的に検討していきます。		
42	美術の森緑地はネイミングライツを販売し、メンテナンス費用に充当できると素晴らしい。			
43	寄付・遺贈者には、その絵画の価値によってメリット(入場無料券など)を与えるなどし、区民外からも寄付・遺贈を積極的に受け入れると財政上良い。			
44	夕刻開催などは素晴らしい。また、制限した場所は飲食可能にして、法人需要をもっと取り込むと良い。			
45	文化的地域活動に使用する会議室を作り、活動する団体を募集、毎年成果の発表を行い、次の文化的活動へとつなげていく仕組みをつくってはどうか。			
46	常設作品については、万が一有料化をはかる場合、区民は無料というサービスディを設けてほしい。			
47	美術館の入場券の半券を提示すると割引やサービスを行うなど、周辺の商店街と連携できると良い。街のアートは、隠しアイテムを点在させて、探し当てると特別記念スタンプが押してもらえるなど工夫すると良い。			
48	カフェ・レストランの併設は、かねてから美術館からダイレクトにアプローチできれば良いと考えていたので賛成である。入場後でも展示室と自由に行き来ができると良い。			
49	美術館のカフェを目当てに訪れる人も多いため、オリジナルなカフェを作る必要がある。軽食等のカフェと、食事のとれるレストランを分け、練馬野菜や練馬の旬のフルーツを使ったランチプレートや、ここならではのインスタ映えがするスイーツ等もあれば、若者を呼び込むことができる。		カフェやミュージアムショップの運営などについては、今後、設計と並行して具体的に検討していきます。	
50	ミュージアムショップはもう少し場所を広くとって、雑貨やお菓子、新たに作ったグッズ、練馬でとれた野菜を販売するミニマルシェコーナーなどを設けたり、野菜の自動販売機を置いてもいい。			
51	カフェ併設は、来客増が見込まれ、とてもよい。企画展とのコラボメニューや、区内で作られた和菓子・洋菓子を試食モニターとして半額などでいただけるコーナーがあると嬉しい。そこから、練馬のあたらしい味のアイデアを生み出してほしい。			

No	意見(要旨)	区の考え方	対応区分
<b>施設計画</b>			
52	サンライフ練馬の労働・職業相談機能は欠かさないものであるため、美術館・図書館は建替し、サンライフ練馬は既存施設の改修で対処すべきである。	美術館は、開館から36年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいるため、大規模な改修が必要な時期を迎えています。近年の他自治体の事例を参考に、大規模改修を基本とした場合でも、経費は70億円程度と試算しています。展示・収蔵環境(7,000点を超える収蔵作品の活用や大規模企画展の開催など)やバリアフリーなど、多くの課題を抱えており、改修では十分な対応が難しいため、これらを総合的に勘案し、改築としたものです。 サンライフ練馬は、施設の設置目的と利用実態が必ずしも一致しておらず、勤労者福祉施設としての機能が低下しているという課題があります。一方、トレーニング室や会議室等は、勤労者だけでなく、高齢者を中心に幅広い年代に利用されている状況です。 また、近隣の中村橋区民センターも大規模改修が必要な時期を迎えています。建設当時から幾度も機能の転換が行われており、今後も予定されているため、最新の機能にあわせた部屋の活用や動線の確保など、施設全体の有効活用が課題となっています。	
53	美術館の再整備は賛成だが、前庭と階段を見直すことで建物を広げるのが良い。サンライフ練馬は利用者が多いので存続すべきである。	このため、公共施設等総合管理計画(実施計画)の中で整理をし、中村橋区民センターの大規模改修と美術館の再整備にあわせて、サンライフ練馬のトレーニング室や会議室の代替を確保するとともに、サンライフ練馬を廃止し、その敷地を活用して、美術館をリニューアルすることにより、3施設の課題を解決したいと考えています。	
54	サンライフ練馬の機能代替など具体的なことがわからない。サンライフ練馬を廃止すると講演会や勉強会など区民の自主的な学習の機会が失われることになるのではないかと。サンライフ練馬の再整備計画も早く出してほしい。	中村橋区民センターの大規模改修と美術館の再整備にあわせて、サンライフ練馬のトレーニング室や会議室の代替を確保します。美術館に整備する多目的室は、多様な活動に柔軟に対応するための機能・設備などを想定しています。今後、設計の中で具体的に検討していきます。	
55	サンライフ練馬が美術館との統合・再編により、本来の施設目的(中高年齢労働者などの雇用の促進と福祉の向上を図るため)と機能(労働相談、心身の健康保持および教養・文化活動などの場の提供)が縮小し、区民福祉が損なわれることがないよう求める。	中村橋区民センターへの代替機能等の移設場所については検討中であり、来年度の中村橋区民センターの基本設計までには、区の基本的な方針を整理する予定です。 なお、サンライフ練馬の廃止の前に中村橋区民センターの大規模改修を行います。	
56	美術館再整備に当たっては、サンライフ練馬と同規模の会議室を、新美術館建物内、あるいは近隣に整備してもらいたい。	節目節目で区民の皆様や区議会からのご意見を伺いながら進めていきます。	



No	意見(要旨)	区の考え方	対応区分
57	練馬区立美術館の企画は素晴らしく、築年数もそれほど経っていないのに建替える必要があるのか。	美術館は、開館から36年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいるため、大規模な改修が必要な時期を迎えています。近年の他自治体の事例を参考に、大規模改修を基本とした場合でも、経費は70億円程度と試算しています。展示・収蔵環境(7,000点を超える収蔵作品の活用や大規模企画展の開催など)やバリアフリーなど、多くの課題を抱えており、改修では十分な対応が難しいため、これらを総合的に勘案し、改築としたものです。	
58	建築物のデザインはアートの魔法を放ち、メッセージを感じるものを求めたい。	基本構想のコンセプトを実現し、文化芸術拠点として相応しいデザイン・機能とするため、公募型のプロポーザル方式により最適な設計者を選定していきます。	
59	美術館の敷地に入ったら、来館者が自然と美術館モードになるような、雰囲気が変わる工夫が欲しい。		
60	美術館部分は、鉄骨鉄筋コンクリートの建物で良いが、エントランス・図書館・カフェの部分は、みどりの豊かさを生かすという趣旨から、木造建築になっていると良い。外にはウッドデッキのテラス席もあって良い。		
61	高齢者が歩け、子供たちがかけっこできる回廊を設置するなど、美術館を中軸に自然共生と健康長寿を包摂した複合施設にしてはどうか。	乳幼児から高齢者、障害者など誰もが気軽に訪れることができる美術館・図書館となるよう進めていきます。	
62	現状の美術館は、エレベーターと展示室のつながりが良くないので改善してほしい。	施設動線やユニバーサルデザインなどに配慮し、乳幼児から高齢者、障害者など誰もが気軽に鑑賞できる環境となるよう、今後、設計を進めていきます。	
63	現在、エレベーターが使いづらい位置にあり、改善してほしい。		
64	現施設は入り口が離れている上に階段があって、入り辛い。入りやすいように、見やすいようにレイアウトすべきである。		
65	フィルムライブラリー(図書館と併用)、映写、講演会等が可能な施設を設置してはどうか。	新たに整備する多目的室は、多様な活動に柔軟に対応するための機能・設備などを想定しています。今後、設計の中で具体的に検討していきます。	
66	太陽光パネル+蓄電池の再生可能エネルギーを採用してほしい。	公共施設等総合管理計画などで定める区の基準に基づき、設計のなかで検討していきます。	
67	展示室は雰囲気を明るく、外光を取り入れる構造にした方が良い。	諸室機能等については、今後、設計のなかで具体的に検討していきます。	
68	緑地の延長として館内空間(中庭等)に緑地を設け彫刻を置いてはどうか。		
69	天井の高さ、展示壁等は、各美術館を参考に、展示室と区民ギャラリーなど、使い方も考慮して決めてほしい。		
70	大型地震を踏まえて設計出来たら素晴らしい。美術品を保管した上で一部の場所は区民の避難所になり得る。	公共施設等総合管理計画などで定める区の基準に基づき、耐震性等を確保していきます。	
71	帰宅困難者の受け入れや、避難場所等の役割も担える防災機能を兼ね備えていると良い。		

No	意見(要旨)	区の考え方	対応区分
72	貫井図書館床面積がどの程度増えるのか不明である。	基本構想では、共用部を含まない面積を目安として記載しています。諸室規模等については、今後、設計のなかで詳細に検討していきます。	
73	図書館のレイアウトデザインにもアートの思考を取り入れると良い。	諸室規模、デザインや備品等については、今後、設計のなかで検討していきます。 なお、多目的室のほかに、打合せや託児室などにも利用できるミーティングスペースを共用部へ設置することを想定しています。	
74	併設の貫井図書館は、他の図書館に比べてもとても人が集まりやすい立地にあり、視聴覚室を利用する機会が多い。基本構想(素案)にある多目的室以外にも、図書館部分に今まで通り使えて、保育室としても使用できるような会議室を設置してほしい。		
75	貫井図書館について、会議室は複数設けてほしい。		
76	貫井図書館に蔵書以外の複写をする複写機を別途設置してほしい。		